

屋外環境整備事業による団地再生・試論

2019年6月12日(水曜日) 18:00~21:00

講師：URD 建築再生総合設計協同組合 三木 哲

戦後の集合住宅団地の配置計画・設計はイギリスなどヨーロッパのニュータウンの開発・計画を手本に、東大に新設された都市工学科の高山研究室や日本住宅公団などで計画された。

高度成長期には都市近郊の大規模団地をはじめ、千里ニュータウン、高蔵寺ニュータウン、多摩ニュータウンなどが続々計画された。

これら集合住宅団地の住宅地としての維持管理計画は体系化されぬまま放置された状況にあった。

集合住宅団地の屋外環境整備事業は団地サービスと緑住環境設計の松岡二三夫氏が始めた。

私は、横国大卒業後勤務していた大谷研究室が手掛けた「こどもの国」のパビリオンで、イサムノグチ氏のランドスケープデザインの手伝いをしたことから始まる。

その後、居住した鶴川6丁目団地管理組合で活動を始めたころ、同じ団地に住んでいた東京農大の造園科学科の蓑茂寿太郎教授や麻生恵さんが立ち上げた居住者組織「植物友の会」を通して、団地の植栽の役割と維持管理を学んだ。

団地住棟の維持管理や修繕計画・設計と合わせて、屋外環境整備計画や一団地辺区設計など手がけ、団地再生を試みてきた。

屋外環境整備事業による団地再生は未完成の仕事ですが、これまでの試みを総括しようと考えています。



日 時：2019年6月12日(水曜日) 18:00pm~20:30pm

会 場：日本建築家協会 建築家会館1階大ホール 東京都渋谷区神宮前2-3-18 TEL: 03-3408-8291

受 講 料：1,000円(学生・無料)

テキスト：建築仕上技術、2018年4月号~2019年3月号：「私のはんせい記-57~-68」抜き刷り

講師略歴：1938年中国・青島生まれ。1965年横浜国立大学工学部建築学科卒業。同年大谷研究室入所

1967年東京大学工学系大学院・吉武・鈴木研究室・修士課程~野生司建築設計事務所を経て共同設計・五月社設立

2013年URD建築再生総合設計協同組合創立と同時に参加、同組合・管理建築士

主催：日本建築家協会関東甲信越支部 メンテナンス部会 後援：工文社：建築仕上技術

申込：下記の参加申込書にご記入のうえ6月10日(月)迄にメールかFAXにて日本建築家協会までお申し込みください

申込先：JIA日本建築家協会/関東甲信越支部/担当：菊池 TEL: 03-3408-8291、メール：rkikuchi@jia.or.jp

参加申込書 ○印を付けてください FAX: 03-3408-8294、メール：rkikuchi@jia.or.jp

□ セミナー 屋外環境整備事業による団地再生		
氏名	他 名	
勤務先	Tel	Fax
所属	□ J I A 会員 □ 建築家 □ 一般 □ 学生 □ その他	